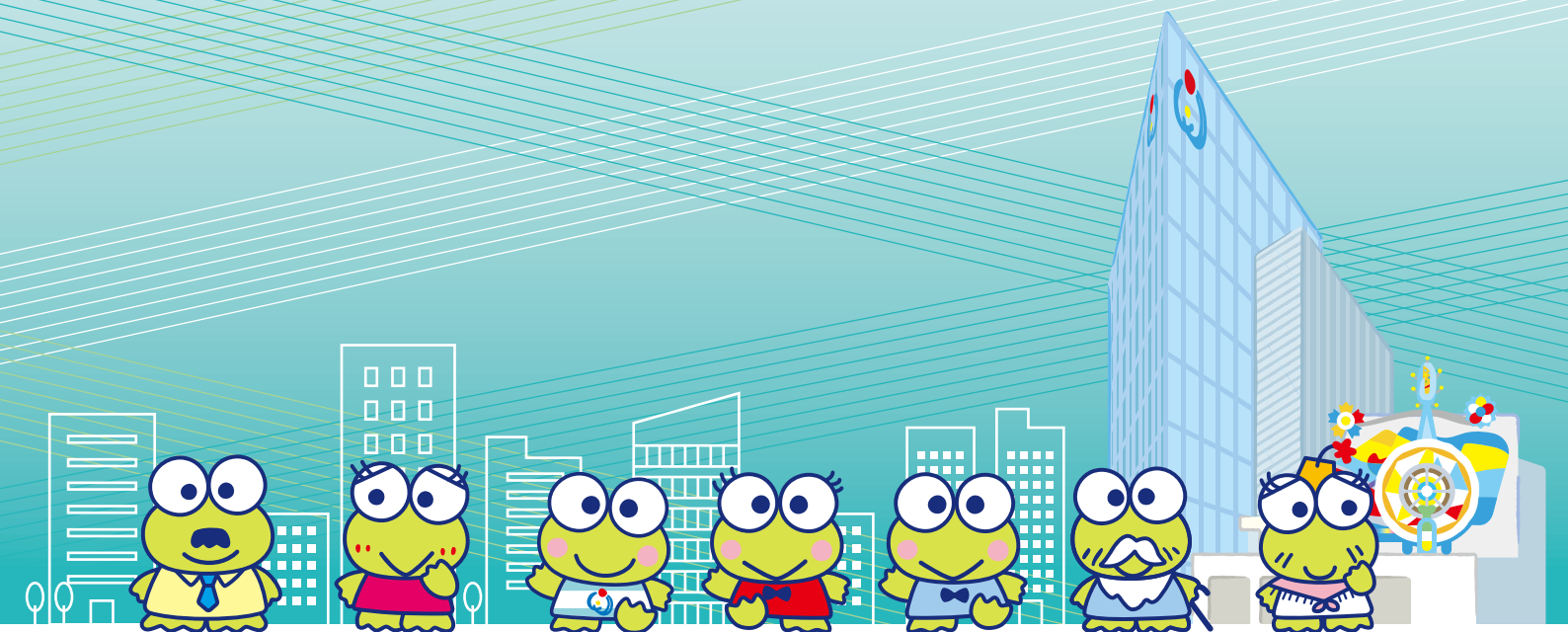


コミュニケーションBOOK

CSR VOL.6

～ REPORT 2025 ～
[2024年3月期]



けろけろけろっぴは大阪商工信用金庫の
公式イメージキャラクターです！

地域にふさわしい 金融機関へ

ごあいさつ

信用金庫で働く人間が、日々の仕事を通じて社会課題の解決に寄与できるものは何だろうかと問い続けて出した答えが「脱炭素コンサルタント活動」であります。いまや地球温暖化や気候変動は地球規模の人類共通の大きな課題といえます。当該課題を無視し続けると人類の生存そのものが脅かされ、次の世代か次の次の世代が生存の危機にさらされてしまいます。議論ばかりして何も手を打たないでいい時代は過ぎました。CO₂排出量削減を当金庫自身は勿論のこと、取引先中小企業の皆さまとともに取り組んで参りたい所存です。そして、お客さまとともに「脱炭素の輪」を広げることによって確実に社会貢献に寄与したいと考えています。

当金庫の経営理念は「やさしくて強い信用金庫になり、社会貢献と利益の両立を実現する」です。「やさしい信用金庫」とはまさに社会課題を解決する信用金庫のことであり、地域社会から必要とされる信用金庫だと考えています。地道な活動を通して当金庫が大阪になくてはならない信用金庫となることを信じて活動を継続して参ります。

大阪商工信用金庫

理事長 多賀 隆一

経 営 哲 学

やさしくて強い信用金庫をつくり
社会貢献と利益の両立を実現する

CSR理念

非営利協同組織金融機関として地域の人々との共生を目指し活動しています。
金融を通じた地域づくり、人と人とのつながりを通じた地域づくりを通して、活き活きとした住みやすい街づくりと地域の人々の幸せのために貢献します。

広報CSR室のモットー 共 感

企業の目指す方針に職員と地域社会の理解と共感が得られなければ、組織が掲げた目標を達成することはできない。

活動を伴う活動

同情や親切心を持つことは人間として当然のことであるが、それだけでは人を動かし社会を変える力にはならない。「同情の涙」だけでなく、思いを行動で示す「汗をかく努力」が大切である。



カーボンニュートラル社会を目指して

当金庫は、持続可能な環境を未来へ残すことが地域金融機関としての使命の一つであると考え、脱炭素社会実現に向けた活動に取り組んでまいりました。
今後も地域社会と連携しながら様々な活動を展開してまいります。

大阪脱炭素ビジネスコンテスト2025 ～公開プレゼンテーション審査～



最優秀賞

「未来を予測しCO₂を削減
環境配慮型省エネシステム」

株式会社未来のコト



優秀賞

「合成バイオ技術を活用した
化学品生産」

マイクロバイオフィクトリー株式会社



特別賞

「段ボール保冷ボックス」

多田プラスチック工業株式会社



2025年カーボンニュートラル実現に向け、中小企業には脱炭素に資する新ビジネスの創出や脱炭素経営、商品開発等が求められています。こうした先導的な取り組みをコンテスト形式で顕彰することにより、大阪全体の脱炭素取り組み推進を目的に「大阪脱炭素ビジネスコンテスト2025」を企画し、2025年1月27日に公開プレゼンテーション審査を開催しました。当日は、26社の中から選ばれた10社が熱意のこもったプレゼンテーションを行いました。



脱炭素EXPO

2024年11月21日に開催された「第4回 脱炭素経営EXPO関西」の特別講演に、理事長の多賀隆一が登壇しました。「中小企業に求められる脱炭素経営」と題し、中小事業者の皆さまに向けて講演を行いました。脱炭素経営が企業の成長戦略になり得るチャンスであることを説明し、取り組みステップについて具体的にお話しました。



再エネへの切替



当金庫では、使用電力を順次100%再生可能エネルギーに転換しております。2024年7月には、高井田支店・吉田支店での使用電力を実質再生可能エネルギーに転換いたしました。今までに、合計7カ店における使用電力の切替が完了しております。



高井田支店



吉田支店

脱炭素経営サポート

当金庫は、お取引先企業とともに脱炭素社会の実現を目指すべく、お客さまの脱炭素経営の取り組みをサポートしております。

03

CO₂排出量の算出

継続的に自社のCO₂排出量を測定するためのシステムをご案内しております。脱炭素経営の実績を見える化することができます。

02

省エネ診断

現在使用しているエネルギーから無駄を省くことで、コストカットにも繋がる「省エネ診断」をご案内しております。コストをかけず経費を削減することが可能となります。



01

脱炭素経営宣言登録制度

大阪府の「脱炭素経営宣言登録制度」は、脱炭素経営の第一歩となる意思表示となります。当金庫は、本制度をお取引先にご案内し、1,200社を超えるお客さまにご登録いただいております。



地域の豊かな まちづくりの支援

当金庫は、サステナブルな地域社会を目指すとともに、地元大阪の発展に貢献すべく様々な活動に取り組んでいます。

世界初！



「大阪商工× けろけろけろっぴ」バス

前にも、
後ろにも！



イベントにもフォトスポットとして登場！来場者は、自由に中に入って写真撮影をしていました。



当金庫本店所在地である「繊維のまち、船場」が持つ魅力を多くの方に伝えるとともに、インパクトのあるデザインによりこのバスが大阪にとって活気と幸せを運ぶシンボリックな存在の一つになって欲しいという思いから、地域に根差した運行会社である大阪バス株式会社とコラボした「大阪商工×けろけろけろっぴ」フルラッピングバスを企画しました。デザインは、繊維のまち＝船場をイメージした背景に加え、当金庫オリジナルデザインのけろけろけろっぴを車内外にわたってあしらっており、地域の皆さまや観光客の皆さまが「見て・乗って」楽しんでいただけます。

遊覧船へのラッピング

大阪市内最古の現役橋「本町橋」のすぐたもとにある「β本町橋」から発着し、道頓堀ルートを運航する「Aarde Leuk号（アールデ・ルーク）」に当金庫イメージキャラクターのけろけろけろっぴデザインをラッピングしました。同遊覧船は、大阪で長年まちづくりに貢献されている地元に根付いた企業であるスギタグループ株式会社が運営しています。水都大阪の水辺からの景色と観光名所である道頓堀の夜景を眺めながら、非日常体験をお楽しみいただけるクルーズとなります。

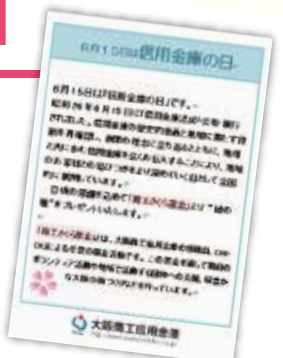


防災月間



南海トラフ地震の30年以内の発生確率が2025年1月に「80%程度」に引き上げられたことを受け、地域の方々の防災意識を高めてもらうために2025年2月の1か月間、各営業店窓口に店周のハザードマップや手作り防災グッズの作り方等を掲示しました。

信用金庫の日



お客さまに緑の輪が広がることを期待し、SDGsにちなんだ4色の花の種をプレゼントしました。また、脱炭素化社会に向けた取組として、職員は車・バイクの使用を控えた移動を心掛けました。

児童虐待防止 オレンジリボンキャンペーン



「子ども虐待のない社会を目指す」ため、一人でも多くの方に「児童虐待防止」に関心をもってもらい、何ができるかを考え、行動を起こしてもらおうという活動です。11月は推進月間でもあり、大阪府と連携し、店頭金利ボード・ポスター等の掲示、「糸車の幻想」のオレンジライトアップ等の啓発活動を行いました。

献血活動



大阪府では、毎日1,100人の献血が必要とされているがコロナ禍以降、献血者数が減少していることを受け、昨年に引き続き献血活動を実施しました。当日は、大阪府赤十字センターより献血バスを当金庫本店駐車場に配車いただき、多くの職員が献血に協力しました。

小学生向け マネースクール



小学4年生を対象に、お金の役割や金融機関の仕事を楽しく学び、“働くこと”への理解を深めていただく「マネースクール」を2012年から開催しています。新入職員が講師役として子どもたちにお金の大切さを伝えています。

出前授業



大阪府教育庁の「おおさか元気広場（放課後子ども教室）」事業の一環で、門真市立門真小学校にて出前授業を行いました。お金のクイズや札勘等、ゲーム形式で楽しみながら学んでもらいました。

家族参観日

2024年8月21日に家族参観日を開催し、親子約50人が参加しました。

当日は、職員の子どもたちがお父さん・お母さんが働いている職場と一緒に出勤し、仕事の内容や信用金庫の役割について学びました。

大阪商工信用金庫は当金庫、職員、家族の相互理解を大切にしています。

大阪府立富田林中学校 「社会探究活動」



「社会探究活動」とは、社会の仕事について探究を深め、社会の課題に気づき、解決方法を考え、よりよい未来を創造できる力を育成することを目的とした学習プログラムです。当金庫は、同活動に共感し金融機関の仕事についてお伝えしています。

SDGs授業



大阪府教育庁の「わくわく・どきどきSDGsジュニアプロジェクト」事業への協力として、八尾市立曙川中学校に訪問し、生徒たちが考えたSDGsへのアプローチプレゼンテーションへのフィードバックを行いました。

醍醐寺展

日本の文化を向上させていくことも、信用金庫の地域に根差した社会貢献と捉え、当金庫では、2024年6月15日から大阪中之島美術館で開催された日本経済新聞社やテレビ大阪ほか主催の「醍醐寺展」に社会貢献活動の一環として協賛しました。

大阪では初めてとなる醍醐寺の名宝展を支援することで、愛好する人たちだけでなく、あらゆる層の皆さまに日本の文化を堪能していただき豊かで平和な社会の維持と文化の継承に貢献します。

国宝展

Celebrating the 1150th anniversary of the Founding of Daigoji Temple and its National Treasures

会場：大阪中之島美術館 4階展示室
 開場時間：10:00～17:00（入場は16:30まで）
 休場日：月曜日・7/23（火）※7/15（月・祝）、8/12（月・休）は開館
 主催：大阪中之島美術館、日本山梨県、日本経済新聞社、テレビ大阪
 協賛：伊藤園、エプソン、大塚精工、サッポロ、住友銀行、ダイキン工業、大和証券グループ
 協力：奈良国立博物館
 観覧料：一般1,800円（1,600円）円、高大生1,500円（900円）、小学生500円（300円）2枚セット券（一般）13,000円

※観覧券は、1枚1,800円（1,600円）円、高大生1,500円（900円）、小学生500円（300円）2枚セット券（一般）13,000円
 ※観覧券は、1枚1,800円（1,600円）円、高大生1,500円（900円）、小学生500円（300円）2枚セット券（一般）13,000円
 ※観覧券は、1枚1,800円（1,600円）円、高大生1,500円（900円）、小学生500円（300円）2枚セット券（一般）13,000円

観覧券ホームページ
<https://naka-art.jp/exhibition-post/daigoji-2024/>
 観覧券X: @daigoji2024

醍醐寺

開創1150年記念

この夏、大阪中之島にハワースボット出現！

前期 6月15日（土）～7月21日（日） 後期 7月26日（水）～8月25日（日）
 2024. 6.15（土）～8.25（日）

大阪中之島美術館
 IJAKANOSHIMA MUSEUM OF ART, OSAKA



商工SDGs月間

商工SDGs月間とは、大阪商工信用金庫の職員がアイデアを出し合い、SDGsの17のゴール達成に向けた取り組みを職員全員が1か月間行う企画です。2021年から取り組んでおり、今年も各支店創意工夫を凝らした様々な取り組みを行いました。



各支店取組一覧

地元密着活動

●地元祭りの運営ボランティア

- ▶ 東成支店 ▶ 西支店

●おさんぽ絵本活動への参加、ペットボトルキャップの回収・寄付

おさんぽ絵本活動とは、地域の公共施設や店舗で絵本を貸し出す事業です。

- ▶ 加美支店



●子ども食堂へのボランティア

- ▶ 八尾支店

●地域の見守り活動への参加

- ▶ 長田支店

●平野区主催「ひらの子育てフェスタ」への参加

- ▶ 平野支店

●まちのコイン事業への参加

まちのコインとは、地域の魅力を発見するコミュニティ通貨アプリです。

- ▶ 八尾南支店

●地元中学生の職場体験受け入れ

- ▶ 京橋支店

健康

●ロビーへの血圧計設置、職員による就業前ラジオ体操活動

- ▶ 日本橋支店

●脳トレクイズと健康プチ情報をロビーに設置

- ▶ 新大阪支店



持続可能な環境を目指した取り組み

●米ぬかでできたジップロックをお客さまに配布

- ▶ 鴻池支店

●牛乳パックでできた再生紙ティッシュをお客さまに配布

- ▶ 西梅田支店

●紙コップの削減

- ▶ 吉田支店

●定期預金の粗品としてマイ箸をお客さまにプレゼント

- ▶ 今里支店



寄付活動

●ペットボトルキャップの回収・寄付

寄付されたペットボトルキャップは、ワクチン購入資金に充てられます。

- ▶ 本店営業部 ▶ 阿倍野支店

●子供服を支援団体に寄付

- ▶ 堺支店

●地元図書館や幼稚園への絵本等寄付

- ▶ 生野支店 ▶ 高井田支店

●ユニセフへの寄付

- ▶ 梅田支店

●アルミ資材の寄付

寄付されたアルミ資材は、車いす購入資金に充てられます。

- ▶ 本部



今までのShokoマルシェに【脱炭素】を新たなテーマとして加えたShokoグリーンマルシェを花園中央公園にて開催しました。2025年 大阪・関西万博の大阪パビリオンにて出展する企業が脱炭素に資する技術の展示体験を行ったり、大阪商工信金社会貢献賞受賞団体が個人でも取り組める脱炭素活動を啓発しました。また、当金庫イメージキャラクターのけろけろけろっぴも登場し、賑やかなマルシェとなりました。



燐炭を用いた土壌で作られた野菜やお米を販売



わずか15秒で消費電力を測定する体験ブース



障がい者アートやグッズを販売



就労支援施設で手作りされた焼き菓子等を販売



みんないっしょに盛り上がりました！



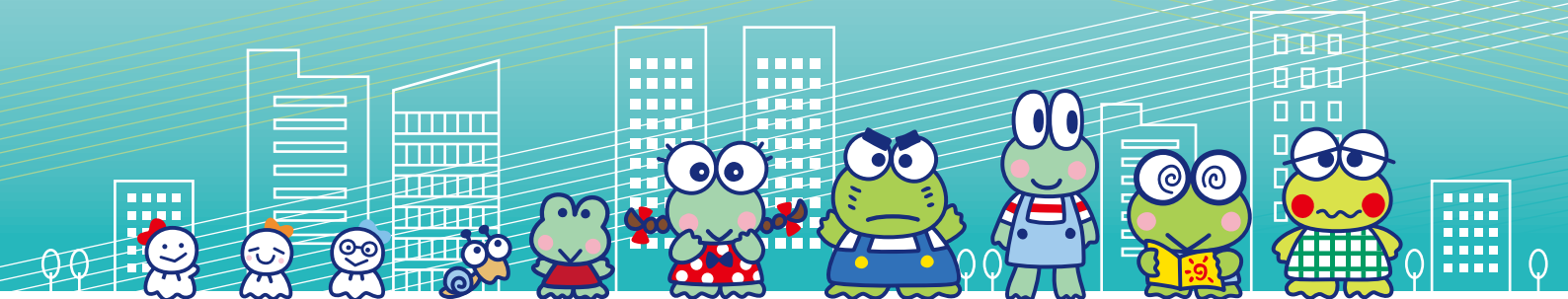
みんなの笑顔を見どりにカエルマルシェ！



地産地消を実現した漬物や果物を販売



コミュニケーションBOOK
CSR VOL.6
～ REPORT 2025 ～
[2024年3月期]



大阪商工信用金庫 広報CSR室

〒541-0053 大阪市中央区本町2丁目2番8号 TEL (06) 6267-2865

© 2025 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO. L655936

2025年5月発行